

(参考) 政府の成長戦略における教育の情報化に関するK P I

無線LANの普通教室への整備を2020年度までに100%とする。(未来投資戦略2018)

現状値

33.2% (2016年度)

【参考】

29.8% (2015年度) 27.2% (2014年度) 24.9% (2013年度)

※校内LANを整備している普通教室のうち、無線LANを整備している普通教室の割合。
(無線LANを普通教室で利用可能とするためには、普通教室まで回線が繋がっていること(校内LANが整備されていること)が必要であるためこのように設定)

【参考】

29.6% (2016年度)
26.1% (2015年度) 23.5% (2014年度) 21.3% (2013年度)

(出典:文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」)

学習者用コンピュータを2020年度までに3クラスに1クラス分程度整備する。(未来投資戦略2018)

現状値

児童生徒5.9人に1台 (2016年度)

【参考】 6.2人 (2015年度) 6.4人 (2014年度) 6.5人 (2013年度)

(出典:文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」)

都道府県及び市町村における学校のIT環境整備計画の策定率について、2020年度までに100%を目指す。(日本再興戦略2016)

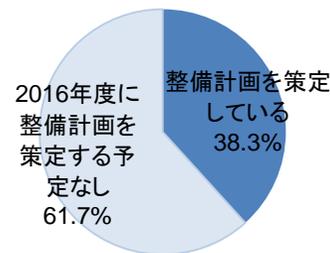
現状値

38.3% (2016年度)

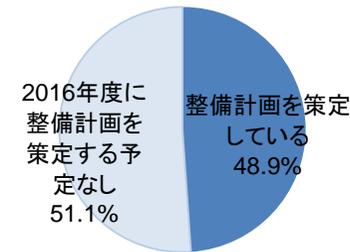
【参考】 32.7% (2015年度) 31.9% (2014年度)

(出典:文部科学省調査)

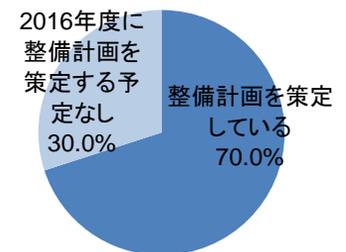
【都道府県及び市区町村(政令指定都市含む)】



【参考】 都道府県



政令指定都市



※ ICT環境整備に関し、整備期間を定め、当該整備期間において具体的な達成目標を定めている「整備計画」の策定の有無を地方公共団体に対し調査

授業中にITを活用して指導することができる教員の割合について、2020年までに100%を目指す。(未来投資戦略2017)

現状値

75.0% (2016年度)

【参考】 73.5% (2015年度) 71.4% (2014年度) 69.4% (2013年度)

(出典:文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」)